

# 広島県後期高齢者医療広域連合の財政状況の公表

～ 令和7年11月～

この「財政状況の公表」は、後期高齢者医療制度の運営にお金がどのように使われているのかといった広域連合の財政状況を皆さんに知っていただくため、毎年5月に下半期分（前年度10月1日から3月31日まで）の財政状況と当年度の当初予算を、11月に上半期分（4月1日から9月30日まで）の財政状況と前年度の決算状況を「広島県後期高齢者医療広域連合の財政状況の作成及び公表に関する条例」に基づき公表するものです。

今回は、令和7年度上半期（令和7年4月1日から9月30日まで）の予算執行や財産の状況と令和6年度の決算状況について公表します。

また、主要な予算科目の内容について簡単に説明しています。



## 令和7年度上半期の財政状況

### ～予算執行の状況と財産等の概要～

以下で説明する財政状況は、令和7年9月30日現在で記載しています。

## 1 令和7年度上半期の歳入歳出予算の執行状況

予算執行状況については次のとおりです。

### ●一般会計の予算執行状況（令和7年9月30日現在）

#### （歳入）

（単位：千円）

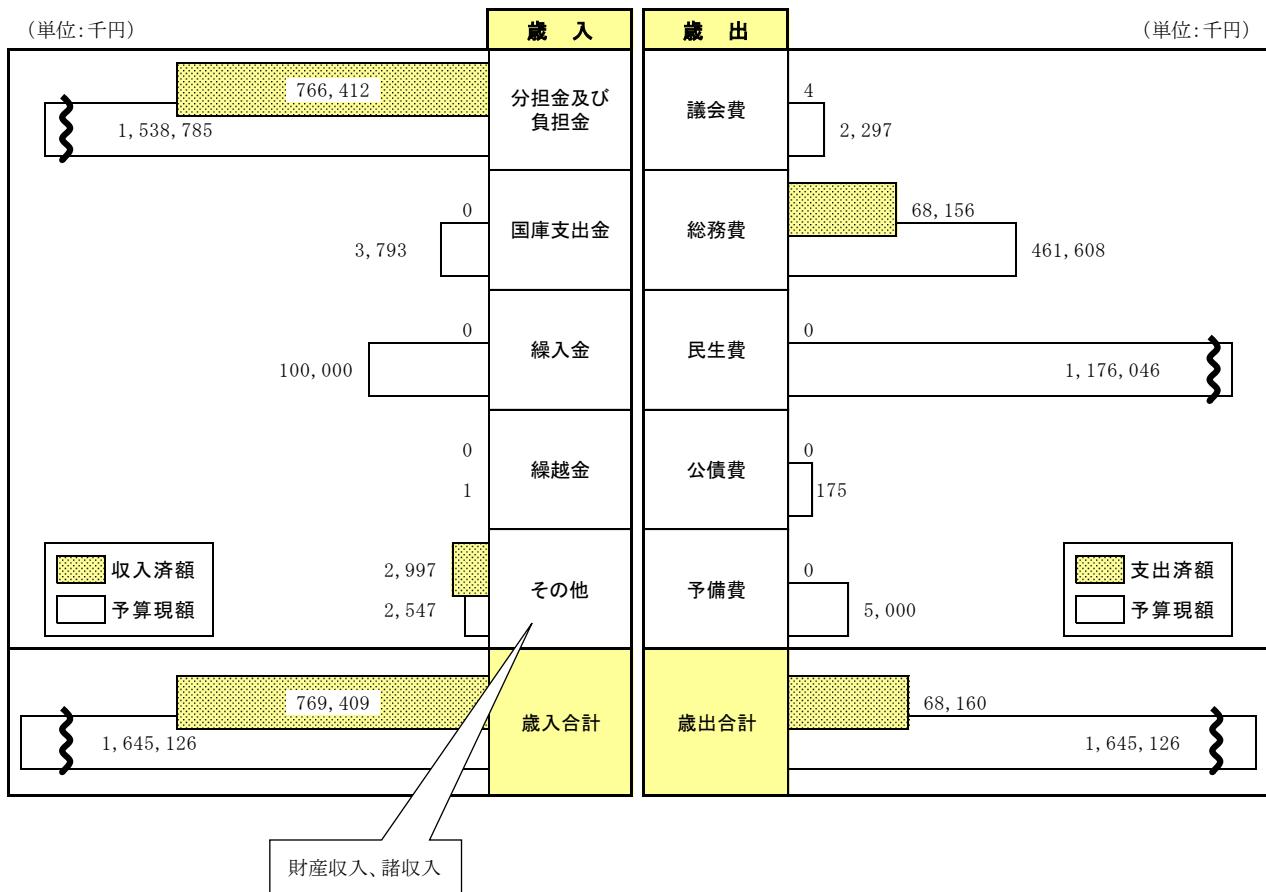
区分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)
分担金及び負担金	1,538,785	766,412	49.8%
国庫支出金	3,793	0	0.0%
財産収入	1,095	1,686	154.0%
繰入金	100,000	0	0.0%
繰越金	1	0	0.0%
諸収入	1,452	1,311	90.3%
合計	1,645,126	769,409	46.8%

#### （歳出）

（単位：千円）

区分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)
議会費	2,297	4	0.2%
総務費	461,608	68,156	14.8%
民生費	1,176,046	0	0.0%
公債費	175	0	0.0%
予備費	5,000	0	0.0%
合計	1,645,126	68,160	4.1%

## グラフ「令和7年度一般会計予算の執行状況（令和7年9月30日現在）」



(注) 上のグラフには、視覚的にわかりやすくしているため、数値と棒グラフの長さの比が合致しない箇所があります。

●後期高齢者医療特別会計の予算執行状況（令和7年9月30日現在）

(歳入)

(単位:千円)

区分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)
市町支出金	90,920,559	37,282,056	41.0%
市町保険料等負担金※	52,361,855	18,002,658	34.4%
国庫支出金	161,169,354	95,123,734	59.0%
県支出金	41,324,258	25,705,805	62.2%
支払基金交付金	194,951,637	80,994,693	41.5%
特別高額医療費 同事事業交付金	267,681	0	0.0%
財産収入	13,574	19,117	140.8%
繰入金	4,270,433	0	0.0%
繰越金	1	3,794,920	379,492,000.0%
県財政安定化 基金借入金	1	0	0.0%
諸収入	560,873	365,386	65.1%
合計	493,478,371	243,285,711	49.3%

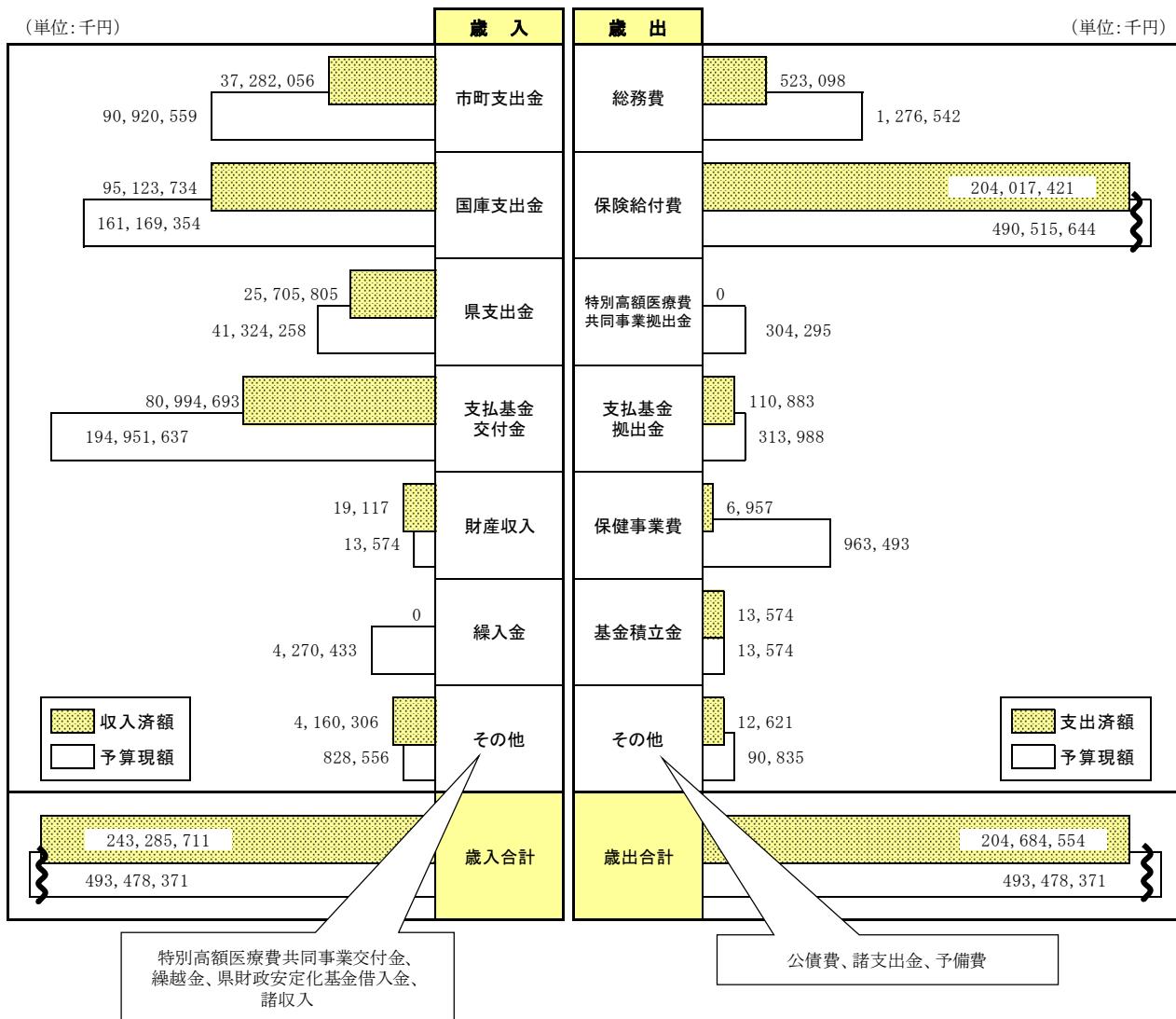
※市町保険料等負担金:市町支出金のうち保険料等についての再掲

(歳出)

(単位:千円)

区分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)
総務費	1,276,542	523,098	41.0%
保険給付費	490,515,644	204,017,421	41.6%
特別高額医療費 同事事業拠出金	304,295	0	0.0%
支払基金拠出金	313,988	110,883	35.3%
保健事業費	963,493	6,957	0.7%
基金積立金	13,574	13,574	100.0%
公債費	3,494	0	0.0%
諸支出金	62,341	12,621	20.2%
予備費	25,000	0	0.0%
合計	493,478,371	204,684,554	41.5%

グラフ「令和7年度後期高齢者医療特別会計予算の執行状況（令和7年9月30日現在）」



(注) 上のグラフには、視覚的にわかりやすくしているため、数値と棒グラフの長さの比が合致しない箇所があります。

## 2 広域連合が所有する財産の現在高

令和7年9月30日現在において、広域連合が所有する財産は次のとおりです。

### 【 物 品 】

区 分	数 量	摘 要
物 品	1	令和3年度財務会計システム一式

(取得価格1件100万円以上の物品)

### 【 基 金 】

名 称	金 額 (円)	摘 要
財政調整基金	961,755,699	決算剰余金等を積み立て、不測の支出に備えるための基金
後期高齢者医療給付準備基金	11,479,887,331	徴収した保険料のうち、その年度に余ったものを積み立て、次年度以降の給付に充てるための基金

## 3 一時借入金及び地方債の借入状況

### ( 1 ) 一時借入金

一時借入金とは、一時的な現金の不足を補うための短期借入金です。

令和7年4月1日から9月30日までの間の借入れはありませんでした。

### ( 2 ) 地方債（広域連合債）

地方債とは、その償還が借入年度以降にわたる長期の借入金で、多額の事業費の財源を確保し、費用負担の世代間格差を是正するためのものです。

令和7年9月30日現在において、借入れはありません。

#### 4 住民負担の状況

被保険者に納めていただいた保険料は、医療給付等に要する費用に充てられる「保険料等負担金」として各市町から広域連合に納付されています。

その他に各市町からは、広域連合の運営に要する費用に充てられる「事務費負担金」及び医療給付に要する費用に一定の割合で充てられる「療養給付費負担金」が広域連合に納付されています。

令和7年4月1日から9月30日における各市町の納付額は、次のとおりです。

(単位：千円)

区分	保険料等負担金	事務費負担金	療養給付費負担金	合計
広島市	7,289,599	277,678	6,923,178	14,490,455
吳市	1,897,562	62,898	2,015,742	3,976,202
竹原市	249,960	10,745	265,698	526,403
三原市	785,617	27,967	786,324	1,599,908
尾道市	1,158,257	40,176	1,177,932	2,376,365
福山市	3,130,846	116,315	2,870,928	6,118,089
府中市	353,222	13,974	308,982	676,178
三次市	418,058	17,175	449,202	884,435
庄原市	331,378	13,879	384,792	730,049
大竹市	250,594	10,628	267,630	528,852
東広島市	1,252,484	46,223	1,098,636	2,397,343
廿日市市	979,447	32,630	829,350	1,841,427
安芸高田市	252,848	11,346	248,088	512,282
江田島市	245,137	10,280	292,716	548,133
府中町	370,053	15,136	312,102	697,291
海田町	198,905	10,076	161,412	370,393
熊野町	238,068	10,134	212,166	460,368
坂町	101,057	6,562	95,976	203,595
安芸太田町	57,372	5,464	83,568	146,404
北広島町	156,622	8,468	162,480	327,570
大崎上島町	82,771	5,820	97,740	186,331
世羅町	145,142	7,918	148,512	301,572
神石高原町	89,515	6,124	86,244	181,883
合計	20,034,514	767,616	19,279,398	40,081,528

※令和6年度分の納付額(2,033,061千円)を含んでいます。

## 主要な予算科目の内容

### 1 一般会計

#### (歳入)

区分	説明
分担金及び負担金	広域連合を構成する 23 市町からの事務費分担金
国庫支出金	広域連合ごとの事情に応じて交付される補助金等
財産収入	財政調整基金の運用利子
繰入金	財政調整基金からの繰入金
繰越金	前年度の決算剰余金の繰越し
諸収入	預金利子等のその他の収入

#### (歳出)

区分	説明
議会費	広域連合の運営に関する経費
総務費	広域連合の運営に関する経費
民生費	後期高齢者医療特別会計の事務費に充てるための繰出金
公債費	一時的な現金不足に対処するため、借り入れる資金に対する支払利子
予備費	不測の支出に備えるための経費

## 2 後期高齢者医療特別会計

### (歳入)

区分	説明
市町支出金	被保険者から徴収した保険料や、被保険者が受けた医療給付の 1/12 相当の公費負担
国庫支出金	被保険者が受けた医療給付の 3/12 相当の公費負担や、広域連合間の財政調整を目的とした調整交付金等
県支出金	被保険者が受けた医療給付の 1/12 相当の公費負担等
支払基金交付金	現役世代からの後期高齢者支援金
特別高額医療費 共同事業交付金	著しく高額な医療給付の発生による財政影響を緩和するための交付金
財産収入	給付準備基金の運用利子
繰入金	一般会計、給付準備基金からの繰入金
繰越金	前年度の決算剰余金の繰越し
県財政安定化基金 借入金	後期高齢者医療の財政安定化を目的に県が設置する基金からの借入金
諸収入	交通事故などの第三者行為に伴う納付金等のその他の収入

### (歳出)

区分	説明
総務費	後期高齢者医療制度の運営に関する経費
保険給付費	被保険者が受けた医療等の医療給付に関する経費
特別高額医療費 共同事業拠出金	各広域連合が共同して負担する特別高額医療費共同事業に係る拠出金
支払基金拠出金	後期高齢者医療制度が支援する出産育児支援金等の拠出金
保健事業費	各市町で行う被保険者の健康診査等の保健事業に対する補助金等
基金積立金	給付準備基金への積立金
公債費	一時的な現金不足に対処するため、借り入れる資金に対する支払利子
諸支出金	国庫支出金、県支出金、市町支出金の返還等
予備費	不測の支出に備えるための経費

# 令和6年度広域連合の決算の状況

## 1 令和6年度の事業

広域連合では、被保険者に安定した医療給付を実施していくための各種事業を行い、制度の円滑かつ効率的な運営に努めました。

各会計の主な支出は次のとおりです。

### ●令和6年度一般会計の主な事業

主な経費は、後期高齢者医療特別会計の事務費に充てるための事務費繰出金（1,143,828千円）、派遣職員の給料等負担金（287,513千円）となっています。

### ●令和6年度後期高齢者医療特別会計の主な事業

主な経費は、被保険者の医療機関等での受診に対する療養給付費を中心とした保険給付費（468,299,328千円）、電算処理システムの安定稼動と適正運用のための電算処理システム運用管理事業（664,333千円）、市町が行う健康診査事業、歯科健康診査事業、長寿・健康増進事業や低栄養防止・重症化予防等推進事業に対する補助（325,843千円）、広域連合が行う保健事業・介護予防一体的実施業務委託料（274,447千円）となっています。

## 2 令和6年度一般会計の決算状況

歳入決算額	16億9,250万1,619円
歳出決算額	16億9,250万1,619円
歳入歳出差引額	0円

### (1) 歳入の状況

令和6年度一般会計の財源構成は、構成市町からの負担金が全体の83.6%を占めています。

(歳入)

(単位:千円)

区分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 収入済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
分担金及び負担金	1,414,689	1,414,690	100.0%	83.6%	1,367,617	47,073	3.4%
国庫支出金	3,434	3,691	107.5%	0.2%	3,625	66	1.8%
財産収入	1,159	1,159	100.0%	0.1%	16	1,143	7,143.8%
繰入金	310,230	130,400	42.0%	7.7%	0	130,400	皆増
繰越金	141,449	141,449	100.0%	8.4%	237,415	△95,966	△40.4%
諸収入	53	1,112	2,098.1%	0.1%	54	1,058	1,959.3%
合計	1,871,014	1,692,501	90.5%	100.0%	1,608,727	83,774	5.2%

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が100.0%にならない場合があります。

## (2) 歳出の状況

令和6年度の歳出の状況を目的別に見ると、特別会計事務費繰出金等の民生費が67.6%を占め、次いで広域連合事務局の運営経費である総務費が全体の32.4%となっています。

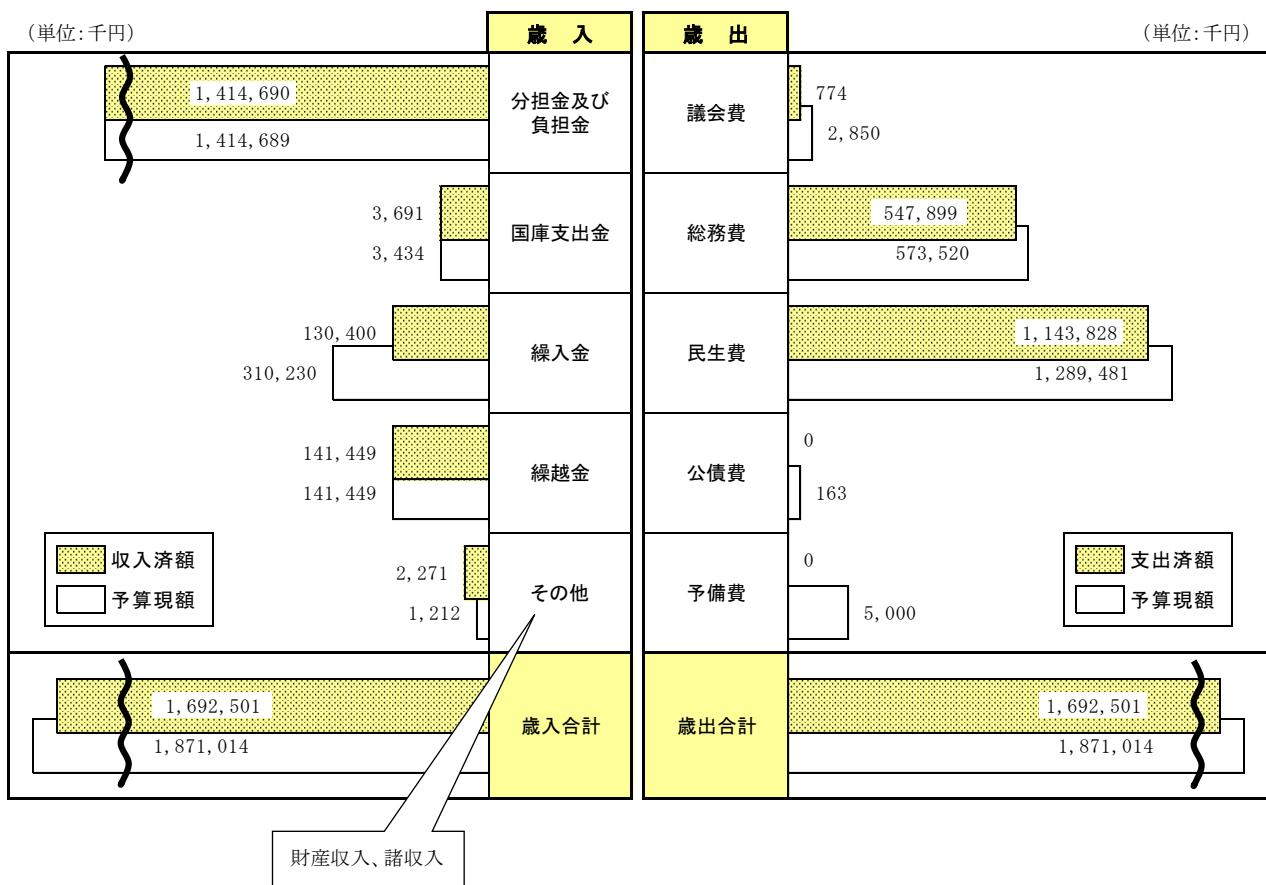
(歳出)

(単位:千円)

区分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 支出済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
議会費	2,850	774	27.2%	0.0%	766	8	1.0%
総務費	573,520	547,899	95.5%	32.4%	574,131	△ 26,232	△4.6%
民生費	1,289,481	1,143,828	88.7%	67.6%	892,382	251,446	28.2%
公債費	163	0	0%	0.0%	0	0	-
予備費	5,000	0	0%	0.0%	0	0	-
合計	1,871,014	1,692,501	90.5%	100.0%	1,467,279	225,222	15.3%

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が100.0%にならない場合があります。

グラフ「令和6年度一般会計歳入歳出決算の状況」



(注)上のグラフには、視覚的にわかりやすくしているため、数値と棒グラフの長さの比が合致しない箇所があります。

### 3 令和6年度後期高齢者医療特別会計の決算状況

歳入決算額	4,753億1,738万3,472円
歳出決算額	4,715億2,246万3,842円
歳入歳出差引額	37億9,491万9,630円

この差引額は、令和6年度の剩余金として令和7年度に繰り越し、国庫支出金等の返還金の財源に充てます。

#### (1) 歳入の状況

令和6年度後期高齢者医療特別会計の財源構成は、現役世代からの支援金である支払基金交付金が全体の39.3%を占め、次いで国庫支出金が33.5%、市町支出金が18.2%、県支出金が8.5%となっています。

(歳入)

(単位:千円)

区分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 収入済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
市町支出金	88,228,382	86,298,054	97.8%	18.2%	79,031,382	7,266,672	9.2%
市町保険料等負担金	50,010,363	48,581,313	97.1%	10.2%	42,432,273	6,149,040	14.5%
国庫支出金	155,642,711	159,234,255	102.3%	33.5%	151,257,744	7,976,511	5.3%
県支出金	40,042,325	40,200,226	100.4%	8.5%	38,144,002	2,056,224	5.4%
支払基金交付金	187,329,400	186,831,433	99.7%	39.3%	184,323,488	2,507,945	1.4%
特別高額医療費 共同事業交付金	212,944	258,982	121.6%	0.1%	207,852	51,130	24.6%
財産収入	13,003	13,003	100.0%	0.0%	229	12,774	5,578.2%
繰入金	4,611,846	1,143,828	24.8%	0.2%	892,383	251,445	28.2%
繰越金	799,333	799,333	100.0%	0.2%	2,487,335	△1,688,002	△67.9%
県財政安定化 基金借入金	1	0	0.0%	0.0%	0	0	-
諸収入	496,204	538,269	108.5%	0.1%	573,030	△34,761	△6.1%
合計	477,376,149	475,317,383	99.6%	100.0%	456,917,445	18,399,938	4.0%

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が100.0%にならない場合があります。

## (2) 歳出の状況

令和6年度の歳出の状況を目的別に見ると、被保険者の医療機関等での受診に対する療養給付費を中心とした保険給付費が全体の99.3%と歳出総額のほとんどを占め、次いで後期高齢者医療制度の事務執行に伴う経費である総務費が0.3%となっています。

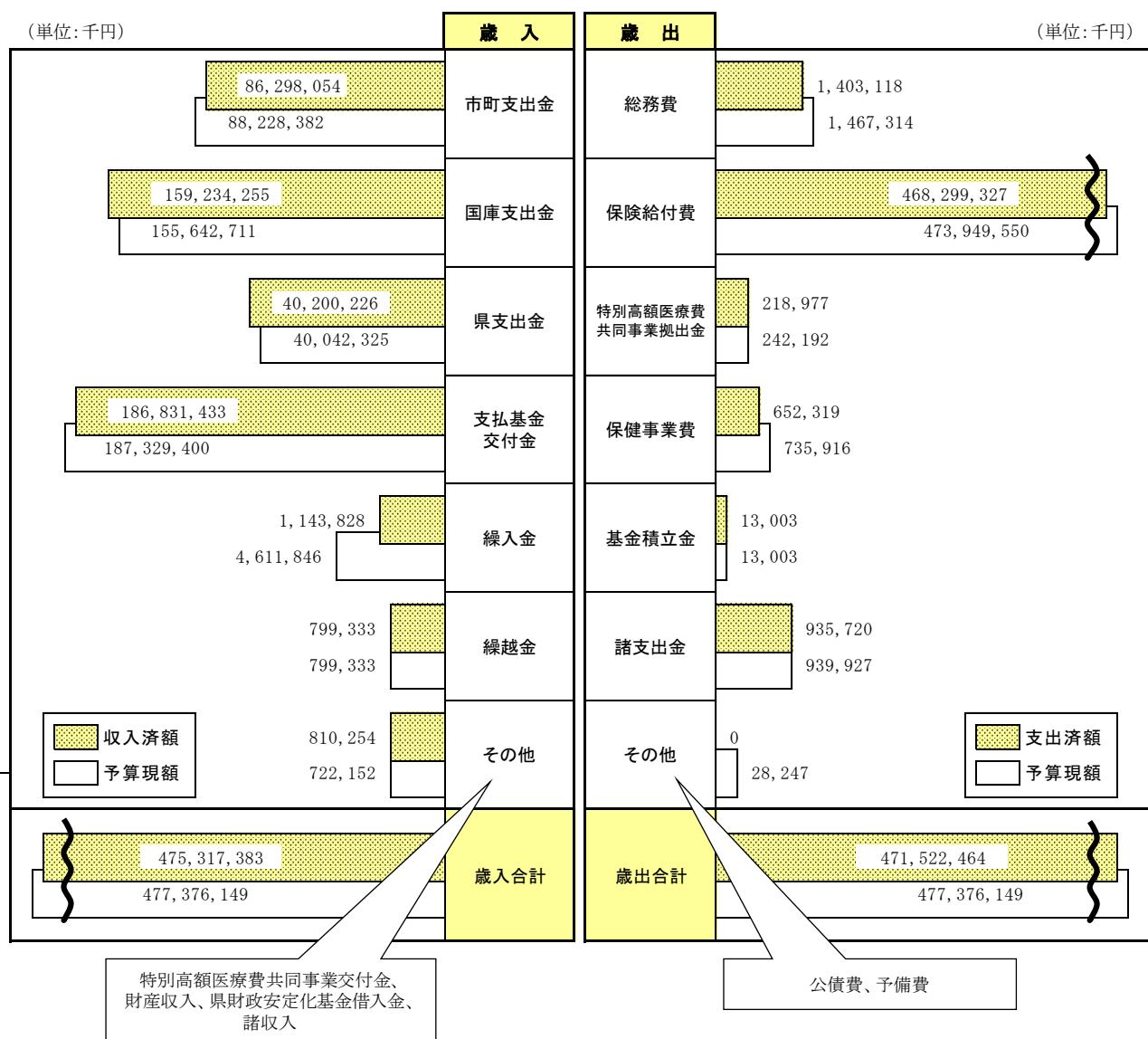
(歳出)

(単位:千円)

区分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 支出済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
総務費	1,467,314	1,403,118	95.6%	0.3%	896,137	506,981	56.6%
保険給付費	473,949,550	468,299,327	98.8%	99.3%	453,755,461	14,543,866	3.2%
特別高額医療費 共同事業拠出金	242,192	218,977	90.4%	0.0%	167,127	51,850	31.0%
保健事業費	735,916	652,319	88.6%	0.1%	621,417	30,902	5.0%
基金積立金	13,003	13,003	100.0%	0.0%	229	12,774	5,578.2%
公債費	3,247	0	0.0%	0.0%	0	0	-
諸支出金	939,927	935,720	99.6%	0.2%	677,740	257,980	38.1%
予備費	25,000	0	0.0%	0.0%	0	0	-
合計	477,376,149	471,522,464	98.8%	100.0%	456,118,111	15,404,353	3.4%

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が100.0%にならない場合があります。

グラフ「令和6年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の状況」



(注)上のグラフには、視覚的にわかりやすくしているため、数値と棒グラフの長さの比が合致しない箇所があります。